

イネカメムシ

の防除を徹底しましょう！

令和7年1月
安足農業振興事務所



イネカメムシの発生が近年拡大しています。

令和6年は県南地域で、水稻に甚大な被害がでました。

イネカメムシは、出穂期に加害すると稲が**不稔**になります。

また、乳熟期に加害すると**基部斑点米**で**品質が低下**します。

出穂期

不稔で
収量低下



乳熟期

基部斑点米で
品質低下



従来の防除と異なるので注意が必要です！

出穂期の防除をプラス！

従来の斑点米カメムシ類の防除に加え、イネカメムシによる不稔を防止するためには、出穂期の薬剤防除が必要です。

防除時期・回数の見直しを行いましょう。

発生予察情報による適期防除

被害が発生していない地域でも、イネカメムシが発生している可能性があります。県の予察情報を注視して防除に生かしましょう。

